

すべての方たちと、すべての子どもたちのために

～共学化への想い～

「教育は心に拠るものである」という信念に基づいて、男子のための教育事業を始めたヨハネ・ボスコと共に、マリア・マザレロは、女子のための教育事業を行いました。2人の教育方針は「理性」「宗教」「慈愛」という三本の柱に支えられた、全人間的教育であると言えます。2人の創立者のこの教育理念に基づき、本学は50年以上にわたり女子の教育に専念してきました。しかしご承知のように、近年多くの保育現場で、男性保育者が活躍するようになりました。保育者の養成を行っている本学はこの現実を受け止めています。

私自身、保育の巡回相談の中で、力のある、将来有望な男性保育者に出会うことが多くなりました。

このような状況を踏まえ、本学では、2019年4月より女子だけでなく男子も含めた保育者養成を行うことにいたしました。男女が共に保育者として成長する、新たな教育環境を作っていきたいと考えています。

「子どもたちの幸せを、自分の幸せとして歩んでいきたい」、そんな夢を描いている未来の保育者を、私たちは、両手を広げてお待ちしております。

星美学園短期大学

学長 阿部健一